

Quest[®] NetVault[®] Bare Metal Recovery Plug-in *Live Client* for Linux 12.0、改訂版 2

リリース・ノート

2018年6月

2018年9月

2019年1月

本リリース・ノートには、Quest[®] NetVault[®] Bare Metal Recovery Plug-in *Live Client* for Linuxのリリースに関する情報が記載されています。

トピック:

- このリリースについて
- 拡張機能
- 解決済みの問題
- 既知の問題
- システム要件
- 製品ライセンス
- アップグレードおよびインストールの手順
- その他のリソース
- グローバリゼーション
- 企業情報

このリリースについて

NetVault Bare Metal Recovery Plug-in *Live Client* for Linux 12.0は、拡張機能が搭載されたメジャー・リリースです。製品の詳細なドキュメントは下記サイトからご覧いただけます。<https://support.quest.com/technical-documents>

拡張機能

次は、NetVault Bare Metal Recovery Plug-in *Live Client* for Linux 12.0に実装されている拡張機能のリストです。

表 1. 一般的な拡張機能

拡張機能	問題 ID
CentOS 6.8、6.9、および 7.4 のサポートが追加されました。	DNBMR-1121、 DNBMR-1122、 DNBMR-1150
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.4 のサポートが追加されました。	DNBMR-1140

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

表 2. 解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
低速ネットワークでディスク使用率の低い小さなパーティションのバックアップを正常に実行できない原因になる問題を修正しました。Quest が <code>nvdrx.cfg</code> ファイルに <code>DelayStopCommand</code> というパラメータを追加しました。このパラメータは、15 秒のデフォルト設定を使用します。この遅延により、ほとんどの場合、バックアップが成功します。この修正は、バックアップで処理される最後のパーティションが小さいパーティションである場合に適用されます。	DNBMR-1160
ディスク・ジオメトリが <code>"/, /boot, /var, swap, /home,"</code> であった Linux クライアントのバックアップ・ジョブで、バックアップ・ジョブのリストの途中に表示される最小のパーティションをスキップする問題を修正しました。この問題は、 <code>"nvdrx.cfg"</code> ファイルで <code>DelayStopCommand</code> パラメータを 15 秒 に設定しても、低速なネットワークで発生しました。	DNBMR-1162、 DNBMR-1169

既知の問題

サードパーティ製品に起因する問題を含む、リリース時に確認されていた問題は以下のとおりです。

表 3. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p>Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 5.1 クライアントのバックアップが、以下のエラーを伴って失敗する場合があります。</p> <p>Cannot find the Xen hypervisor file which the system was booted with. Without this, it is not possible to perform a system installation. You should create the file /storix/config/multibootfile with a line specifying the full path to the hypervisor file and recreate the boot media. (システムを起動した Xen ハイパーバイザ・ファイルが見つかりません。これを使用しないと、システムのインストールを実行することができません。/storix/config/multibootfile ファイルを作成し、ハイパーバイザ・ファイルへの完全パスを指定する行を追加してから起動メディアを再作成してください。)</p> <p>対処法：</p> <ol style="list-style-type: none">1 /boot/grub/grub.confを開き、マシンが起動されたセクションを検索します。 <p>以下の形式に類似しています。kernel /xen.gz-2.6.18-53.el5</p> <ol style="list-style-type: none">2 ファイルを作成して/storix/config/multibootfileという名前を付け、以下の例に示すようなハイパーバイザ・ファイルへの完全パスを指定する行を追加します。 <pre>/boot/xen.gz-2.6.18-53.el5</pre>	DNBMR-16 (17294、 VLG-110)、 DNBMR-64 (17342、 VLG-156)
<p>リストアは正常に完了したが、マウント済みパーティションのサイズが変わり、一時ファイル・システムがマウント解除されないことがあります。一時ファイル・システム (tmpfs) を手動でマウントするか、システムの起動時に /etc/fstab を編集します。</p>	DNBMR-24 (17302、 VLG-118)
<p>SCSI またはネットワーク・デバイスが起動時に Storix 起動メディアから利用できない場合、デバイス・モジュールが起動メディアに含まれていない、あるいはマスター・モジュール・ファイルにリストされていないと示されることがあります。</p> <p>対処法：</p> <p>見つからない SCSI やネットワーク・デバイス・モジュールを追加するには、起動メディアが作成されるクライアント上で以下の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 元の「bootlist」ファイルをカスタム・ディレクトリにコピーするには、次のコマンドを発行します。# cp /opt/storix/config/bootlist_scsi /storix/config/bootlist_scsi <p>メモ： ネットワーク・ドライバにエントリを追加する場合は「bootlist_network」ファイルを使用し、SCSIドライバにエントリを追加する場合は「bootlist_scsi」ファイルを使用する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none">2 カスタム・ディレクトリで“bootlist”ファイルを開き、#\$ SCSI adapters行の後に SCSIデバイス・モジュールを追加し、"#\$ Ethernet Network Adapters行の後にネットワーク・デバイス・モジュールを追加します。 <p>モジュールを追加するには、以下の形式を使用します。#MOD:S:モジュール名:詳細</p> <p>例: #MOD:S:dc395x_trm:DC-395U SCSI adapter support</p>	DNBMR-39 (17317、 VLG-131)
<p>Ubuntu クライアントで、リストア後に Storix 管理シェルが maint> を返しません。これは Ubuntu 内で /bin/sh が /bin/dash にリンクされているためです。このため、リストア完了後 Storix は新たにリストアされたルートで chroot を実行して /bin/sh を呼び出しますが、このシェルにはプロンプトがひとつも表示されません。</p>	DNBMR-68 (17346、 VLG-161)

表 3. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p>本プラグインでは、暗号化されたパーティションをサポートしません。暗号化パーティションを有効化した場合、バックアップは以下のエラーを伴って失敗します。</p> <p>警告: 「Volume Group VolGroup00 will be ignored because it contains physical volume mapper/luks-bfb0ef38-6066-4d0e-9e15-8c5fbe53ee4f, which is not a supported device type. (ボリューム・グループ VolGroup00 は無視されます。これはデバイス・タイプとしてサポートされていない物理ボリューム・マッパー (/luks-bfb0ef38-6066-4d0e-9e15-8c5fbe53ee4f) を含むためです。)」</p> <p>Error: 「/ ファイルシステムがシステムに存在しますが、バックアップには含まれていません。これは選択しなかった論理ボリューム内に含まれるためです。You must include volume group VolGroup00 on a system backup.</p> <p>Storix を使用している場合、同じディスク・サイズの同一クライアントまたは異なるクライアントをリストアすると (これらのいずれかが論理グループやボリュームの一部として設定されているなど)、以下のメッセージが表示されることがあります。</p> <p>The following non-fatal errors must be corrected before continuing: Disk sdb: This disk is not large enough for the partitions as they are currently defined.You must reduce the space requirements on this disk by at least 7MB by removing the partitions or reducing their sizes. (致命的ではありませんが、継続する前に以下のエラーを修正する必要があります: Disk sdb: このディスクには、現在定義されているパーティションに対して十分な空き容量がありません。パーティションを削除またはサイズを小さくすることにより、このディスク上で必要な容量を少なくとも 7MB まで削減する必要があります。)」</p> <p>対処法: パーティション・サイズを調整するには、Storix 内の 【インストール設定の表示 / 変更】 機能を使用します。</p> <p>複数ディスクにまたがったストライプ化論理ボリュームを再作成するためにリカバリ・プロセスを許可するには、ストライプ・サイズを手動で変更します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Storixのメイン・メニューから、【View/Change Installation Settings】>【Logical Volume Management】>【Add or Change Logical Volume】を選択します。 2 利用可能なボリュームを選択し、【Enter】 を押します。 3 【Stripe Size】 を「0」から元々設定されていたサイズに変更します。 4 メイン・メニューに戻り、各選択画面上でF3を押します。 	<p>DNBMR-83 (17361、 VLG-175)</p>
<p>Storix SBAAdmin は、Dell EqualLogic ドライバをサポートしていないため、プラグインでは Dell EqualLogic デバイスに送信されたバックアップ・ジョブがサポートされません。</p>	<p>DNBMR-1079、 DNBMR-1097 (31073、 32465)</p>

システム要件

NetVault Bare Metal Recovery Plug-in *Live Client* for Linux 12.0をインストールする前に、お使いのシステムが『Quest NetVault Backup互換性ガイド』(<https://support.quest.com/technical-documents>で入手可能)に記載の要件を満たしていることを確認してください。

アップグレードと互換性

サポートされるプラットフォームの詳細については、『Quest NetVault Backup互換性ガイド』を参照してください。

製品ライセンス

NetVault Backupサーバー環境でライセンス・キーを取得するには、メインNetVault BackupサーバーのNetVaultマシンIDを確認します。また、OracleやMySQL、PostgreSQL、SQL Server、Exchangeなどのアプリケーション・プラグインを実行しているクライアントのマシンIDも確認する必要があります。

NetVault設定ウィザードを使用して、製品のライセンス・キーをインストールできます。代わりに[クライアント管理]ページからライセンス・キーをインストールすることもできます。

- マシンIDの取得
- 設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール
- [クライアント管理]ページからのライセンス・キーのインストール

マシン ID の取得

- 1 NetVault Backup WebUIを起動します。
- 2 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 4 [クライアント表示] ページで、マシンIDと正確に同じものが [クライアント・サマリ] テーブルに表示されます。

設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション]パネルで、[ガイド付き設定]をクリックします。
- 2 [NetVault設定ウィザード] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンス・キー文字列の入力] ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。

[クライアント管理] ページからのライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション]パネルで、[クライアント管理]をクリックします。
- 2 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 3 [クライアント表示] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。

- 4 [ライセンスのインストール] ダイアログ・ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。
- 5 ダイアログを終了するには、[閉じる] をクリックします。

アップグレードおよびインストールの手順

- 以前のバージョンのプラグインからアップグレードする場合、その既存のバージョンのプラグインを削除します。プラグインの削除についての詳細は、『Quest NetVault Bare Metal Recoveryユーザーズ・ガイド』を参照してください。
- 本プラグインの以前のバージョンからアップグレードする場合、すべてのクライアントおよびサーバーを同じバージョンでアップグレードします。(DNBMR-901)
- アップグレードおよびインストールについての詳細は、『Quest NetVault Bare Metal Recoveryユーザーズ・ガイド』を参照してください。

その他のリソース

以下から追加情報を入手できます。

- [オンライン製品ドキュメント](#)
- [NetVaultコミュニティ](#)

グローバル化

ここでは、北米以外の地域のお客様に必要な、この製品を英語以外の言語設定でインストールして構成する方法を説明します。このセクションで説明する内容は、他の製品マニュアルに記載されているサポート対象プラットフォームや設定などの情報に代わるものではありません。

本リリースでは、シングル・バイトまたはマルチ・バイトのあらゆる文字セットに対応しています。多言語データを使用した同時操作にも対応しています。このリリースを利用できる対象地域は次のとおりです。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

本リリースは次の言語にローカライズされています：中国語(簡体)、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語。

企業情報

Questは、急速に変化する企業ITの世界にソフトウェア・ソリューションを提供します。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッド・データセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。弊社は、Fortune 500の95%の企業およびGlobal 1000の90%の企業など、100か国におよぶ130,000社に対するグローバル・プロバイダーです。1987年以来、データベース管理、データ保護、IDおよびアクセス管理、Microsoftのプラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Questにより、組織はIT管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新に費やす時間を増やすことができます。詳しくは、以下を参照してください。<http://www.bakbone.co.jp>

テクニカル・サポート用リソース

テクニカル・サポートは、Questの有効な保守契約を締結している場合、または試用版を保有している場合にご利用いただけます。Questサポート・ポータル(<https://support.quest.com/ja-jp>)にアクセスすることができます。

サポート・ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ・ツールがあり、24時間 365 日ご利用いただけます。サポート・ポータルでは次のことを実行できます。

- サービス・リクエストの送信と管理。
- ナレッジベース記事の参照。
- 製品に関するお知らせへの登録。
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード。
- 入門ビデオの閲覧。
- コミュニティ・ディスカッションへの参加。
- サポート・エンジニアとのオンライン・チャット。
- 製品に関する支援サービスの表示。

© 2019 日本クエスト・ソフトウェア株式会社

ALL RIGHTS RESERVED.

本書には、著作権によって保護されている機密情報が記載されています。本書に記載されているソフトウェアは、ソフトウェア・ライセンスまたは機密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアは、当該契約の条項に準拠している場合限り、使用または複製することができます。本書のいかなる部分も日本クエスト・ソフトウェア株式会社の書面による許可なしに、購入者の個人的な使用以外の目的で、複写や記録などの電子的または機械的ないかなる形式や手段によっても複製または転送することはできません。

本書には、Quest Software 製品に関連する情報が記載されています。明示的、黙示的、または禁反言などを問わず、本書または Quest Software 製品の販売に関連して、いかなる知的所有権のライセンスも付与されません。本製品の使用許諾契約の契約条件に規定されている場合を除き、QUEST SOFTWAREはいかなる責任も負わず、製品に関連する明示的、黙示的または法律上の保証(商品性、特定の目的に対する適合性、権利を侵害しないことに関する黙示的保証を含む)を否認します。QUEST SOFTWAREは、損害が生じる可能性について報告を受けたとしても、本ドキュメントの使用、または使用できないことから生じるいかなる、直接的、間接的、必然的、懲罰的、特有または偶発的な障害(無期限、利益の損失、事業中断、情報の損失も含む)に対しても責任を負わないものとします。Quest Software は、本書の内容の正確性または完全性について、いかなる表明または保証も行わず、通知なしにいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。Quest Software は、本書の情報を更新する一切の義務を負いません。

本文書の使用に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本クエスト・ソフトウェア株式会社
宛先: 法律部門
東京都新宿区西新宿6-10-1
日土地西新宿ビル13F

日本国内および海外の事業所の情報に関しては、弊社のWebサイト(<https://www.quest.com/jp-ja>)を参照してください。

特許

高度なテクノロジーはQuest Softwareの誇りです。特許および出願中の特許がこの製品に適用される可能性があります。この製品に適用される特許に関する最新情報については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal>の弊社Webサイトを参照してください。

商標

Quest、Questロゴ、およびNetVaultは、日本クエスト・ソフトウェア株式会社の商標および登録商標です。Questの商標の詳細な一覧については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal/trademark-information.aspx>を参照してください。その他すべての商標および登録商標は各社に帰属します。

凡例

- **警告:** 警告アイコンは、潜在的な資産の損害、個人の負傷または死亡の可能性を表しています。
- ⚠ **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを表しています。
- i **重要、メモ、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、サポート情報を表しています。